

第1章 調査実施概要

1. 調査目的

大阪府に居住する65歳以上の高齢者を対象に、日常の生活状況や介護サービス等についての意識を把握し、今後の大阪府の高齢者保健福祉施策や介護保険制度の運営に資する基礎資料を得るために実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 府内全域
- (2) 調査対象 満65歳以上の府民
- (3) 調査対象数 6,230人
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査項目 巻末アンケート調査票参照
- (6) 調査実施期間 令和4年10月3日(月曜日)～31日(月曜日)

3. 回収結果

標本数	不到達 標本数	到達 標本数	回収数	標本数 に対する 有効回答率	到達標本数 に対する 有効回答率
(a)	(b)	(c)=(a)-(b)	(d)	(d)/(a)	(d)/(c)
6,230	15	6,215	4,160	66.8%	66.9%

※不到達: 転居先不明等で返戻されたもの

4. 表記などについて

- (1) 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合がある。
また、複数回答を求めた設問は、回答者数に対する割合を示しているため、合計値は100%を超える。
- (2) 文中に示す「n」は、各設問の回答者数である。
- (3) 文中の結果の数値は百分率(%)で表しているが、比較などの場合はポイントという表現を用いている。
- (4) 設問・選択肢は省略して標記している場合がある。(正式な設問・選択肢の標記については巻末アンケート調査票参照)
- (5) 選択肢「その他」に具体的に記入された内容が、明らかに他の選択肢に該当する場合は、該当の選択肢を選んだものとした。

- (6) 調査結果は、「全体」の構成比と各属性項目の構成比を比較することで、「全体」(平均)との差を把握できる。
 また、集計表中、濃い網掛けは、全体よりも10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体より5ポイント以上10ポイント未満高いものである。(「不明」の欄は網掛けをしていない。)
- (7) 属性などにおいて顕著な差がみられない場合は、解説を記載しない。
- (8) 回答数が少ない場合の集計結果については、統計上の信頼性が低いと考えられる場合がある。

【参考】

圏域	標本数	有効回答数	構成比(%)
大阪市高齢者福祉圏	840	546	13.1%
豊能高齢者福祉圏	820	548	13.2%
三島高齢者福祉圏	610	412	9.9%
北河内高齢者福祉圏	1,010	676	16.3%
中河内高齢者福祉圏	620	379	9.1%
南河内高齢者福祉圏	770	516	12.4%
堺市高齢者福祉圏	560	370	8.9%
泉州高齢者福祉圏	1,000	637	15.3%
府外	-	9	0.2%
不明	-	67	1.6%
合計	6,230	4,160	100.0

※構成比は、有効回答数の合計に占める割合